

第8回久留倍官衙遺跡整備検討委員会 会議録要旨

1 日 時 平成26年2月5日(水) 13:30~16:00

2 場 所 四日市市役所9階 大会議室

3 出席者(順不同・敬称略)

【委員】

山中章(委員長)・黒崎直(副委員長)・伊藤久嗣・岡田登・中森ゆき子・中川ゆかり・古市立美

【アドバイザー】

県小学校長 荒木昌俊

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課

竹内英昭(班長)・石井智大(技師)・川部浩司(技師)

【事務局】

伊藤幸子(社会教育課長)・石毛彩子・五十棲孝子・葛山拓也・加藤淳次

4 傍聴者 なし

5 会議録(要旨)

(1) あいさつ

課長挨拶 委員の先生方、ご多忙の中ありがとうございます。平成23年3月に土地の取得、24年度に整備検討委員会立上げ、24年3月に基本設計策定後、24年度史跡地内エントランス地区工事着手、今年度史跡地の造成工事に入った。今後ともご指導お願いしたい。

(2) 報告事項

①今年度工事について

A 委員 事前の意見も踏まえて進めていく。報告事項です。今年度史跡地内工事についてお願いする。

事務局 今年度工事についての報告

②ガイダンス施設の実施設計について

事務局 今年度実施設計についての報告

A 委員 万が一、地震の時の避難対策はどうするのか。久留倍も対象になるのではないかと。何人くらい避難できるのか。多賀城市の展示スペースで震災の時、勝手に市民が入り数週間寝泊りした例がある。あらかじめ把握しておいた方がいい。

事務局 四日市市全体の調査の中で久留倍は水道、トイレがあり高台にあるため敷地面積を提出している。その中には収容人数の提出はなかった。調べておく。

B 委員 学習展示室の高いところに窓があるが、パネルをした時に問題ないのか。

事務局 まだ計画段階だが、壁面の窓はなくそうと考えている。

③復元建物について

事務局 今年度基本設計についての報告

A 委員 前回の委員会で門が歪んでいた件だが調査の結果、歪んでいなかった。新たに断ち割りを行い予想以上に柱痕跡が深かった事がわかった。次に復元検討委員会での指摘事項についてはどうか。

- C 委員 資料3の1月22日指摘事項で基壇と基壇化粧を考えること、調査では痕跡なし、どうしたらいいのか。これは何を根拠にしてというのがないため回答の出しようがない。もう一つ、門だから通路はあったはずだ。化粧よりも通路の方がわかりやすい。八脚門から東に向かってどこまで東にもっていけるのか。道の幅は門からわかるが根拠を考えると無理ではないか。
- B 委員 基壇については屋根から水が落ち建物に入り、掘立柱だからそこから濡れてもたないため周辺より高くしているだろう。見切りとして切石なのか川原石なのか、それは発掘調査で上が飛んでいるため手がかりがないが、周囲を高くするのは絶対必要だ。自然石を並べるか、切石を並べるかになると思う。土盛りで持ち上げてという例もあるが決めようがない。
- 事務局 布石で化粧をして、台材だけ木でする。
- B 委員 木製だと杭の跡が残るはずだ。痕跡を見つけて木製と判断している。全面掘って杭の跡がなければ木製の可能性は少ないのではないか。メンテナンスを考えてもあえて木製を考える必要はない。通路についても正面向かってある程度の長さで何メートルかの真っ直ぐなものがあったはずだ。東に引っ張って車椅子の方が東門から行く時の道と一緒にするのもいい。復元検討委員会の先生も分からないという事はわかってくれる。どれが間違っていて、合っているというのではない。塀の意匠だが横板を積んだやり方でよい。中は土壁でよい。
- 事務局 柱はこの通りでよいか。柱の間の塀に材を入れる。
- B 委員 柱間はいくつか。
- 事務局 2.4mだ。
- B 委員 最近は強い風が吹くためそれは入れた方がいい。屋根は一枚ではなく小さな簡単な板を重ねる感じがいい。
- 事務局 箱崎先生は1枚でもいいという意見だったが、言われたからやるというのではいけない。10尺以上と長いので1枚となると下材として手に入れにくい。
- D 委員 このあたりでは手に入りやすかったのでは。都とここではイコールではない。
- E 委員 屋根が板葺きというのはいいか。他の官衙遺跡ではっきり材が分かっているところはないのか。
- 事務局 檜皮だともっと雑な仕様というので板ではないかといわれている。分かっているところはない。
- E 委員 檜皮の可能性はないのか。
- 事務局 あると思う。寺院などでは茅や檜皮が多い。復元検討委員会からも長い板はどうか、檜皮でもいいのではないかという意見も出ている。
- E 委員 正倉院文書では材は細かく書いてある。板である根拠はあるのか。
- 事務局 瓦葺以外はわからない。関東の正倉院では瓦葺もある。
- E 委員 瓦、板、檜皮の位置づけ、性格が分かっていたらこれを取った説明はできる。
- 事務局 瓦と檜皮は同じように中心の殿舎で使われているが、官衙で使われているのはない。逆に檜皮ですると高いのではないか。板材の方が安い。
- A 委員 門はやっぱり板なのかとなる。
- 事務局 瓦と檜皮と茅葺の3種類あるが、茅葺が1番丈夫だ。
- D 委員 発掘してもそれはわからない。資料としてもほとんどない。
- A 委員 教育委員会としては指摘事項を実務的にどういう風にしていくのか。
- C 委員 調べて、整理した上で先生方の意見を聞いて進める。次回復元検討委員会の日程が決まっておりますそれに載せたい。来週、再来週で仕上げたい。
- 事務局
- B 委員 基壇については再度考えてもらい、屋根については理由付けをすれば通るだろう。

塀についても原案でいいが指摘事項としてどういうことだったのか。

事務局 表示として塀がその先も続いている事を表現して欲しいという事だった。

B 委員 後は弱すぎるから中に材を入れなさいという事か。

A 委員 決裁は下りているのか。

事務局 下りている。

A 委員 それなら図面を見たら分かるだろう。屋根を一枚にするのは安全面でも問題がある。伊勢湾台風並みのものが来たら飛んでいく。E 委員は檜皮の方がいいのではないかと
いうのはなぜか。

E 委員 石山寺が檜皮を使ってお寺なのに珍しいと思い、一般的なのかと思った。わ
からないならいい。

事務局 全国的に見てもない。

④今後の予定について

事務局 今後の予定について

D 委員 壬申の乱は小学生であり習わず中学生で学ぶ。高校生でさらに詳しく習うので教
材はあるのに高校生には全く説明がないというのは寂しい。北勢地区の高校生、進学
校であれば学生はほとんど四日市から出て行ってしまう。他でも広めてもらえるよう
に高校の教育にも入れて欲しい。

事務局 高校生も考えているが市のプログラムとしてはここには載せていない。

A 委員 これも大切なことだと思うので検討してほしい。市役所の職員、新任研修と言わず
中年、市会議員も研修してほしい。

事務局 検討する。

県教委 学習プログラムに関しては市で考えてもらっているが県でも考えている。情報交換
をお願いする。

F 委員 年に1回校長・教頭OB会があり、祭りの資料を渡している。関心を持ってもらっ
ている。

A 委員 いろんな機会をつくってもらい、講演してもらうなどできるだけ普及してほしい。

(3) 協議事項

①S B439の表示について

事務局 S B439の表示についての報告

A 委員 表示するかどうか。

B 委員 以前も話した。園路の向こう側、斜面があるから技術的に無理だと退けられたが、
私は表示すべきだと言う意見だ。聖武天皇が周った時の時期だ。南を意識して同じ大
きさの物が2つ並んでいる事に意義がある。南を意識して同じ大きさの物が2つ並ん
で建てている事が特徴的であり、意義があるのだから表示した方がいいという意見だ。
技術的に難しいと言われたが久留倍遺跡の3時期の内2時期を考える上で表示した方
がいい。

A 委員 表示してもらえるなら表示して欲しい。

D 委員 どういう風になるのかわからない。斜面というのが。

事務局 転落防止のために植栽を植える予定なので周りの植栽を考える。

D 委員 園路に重なっているのか。

事務局 重なっている。

- A 委員 園路についてはこの後協議する。
- C 委員 遺構表示するのはより詳細にできるという点ではいいが、それを市民に理解してもらえるのか。見やすさ、分かりやすさが大切だ。ガイダンス施設の中で遺跡の時代区分を入れなければいけない。これだけでは中学生でも最後まで読まない。東西棟で繋がっていることが大事だがそれをどう表現するのか。聖武天皇の時代と言うのがわかりやすいが、それとどう関係するのかの説明が難しい。
- A 委員 復元についてはいいが表示方法についてはどうするか。樹木を円柱状に刈上げて柱の位置を示す。御影で花壇を造る。園路の問題さえクリアすればいいが、それ以外の表示がそうになっていないのに園路の北側だけこの様に表示して違和感がないのか。そのあたり、見に来る人の理解を深めるためにどうするのか。
- E 委員 柱の形で表示がいい。植栽では常に形を保つ手入れが大変で分かりにくい。柱のようにしておけば分かりやすい。他と色を変えておけば時期が違うという事も分かる。見る側としてはそれが1番分かりやすい。
- B 委員 木でやるというのも1つの案としていいが、南地区のものも同じ手法で行うという事か。同じ時期なのに表現方法を変えるというのなら分かりにくい。同じもので柱位置を表すべきだ。
- D 委員 園路の北側に自然の森を作りたいというのがわからない。園路の外側は自然の森で子ども達に散策してもらおうとかそういうイメージの森ができるのか。1つの場面であるような見方をしてくれというのは解釈が難しい。できるだけ簡単な表示で、あれもこれもではわからない。
- D 委員 園路の道の上に表示があるというのはおかしくない。かえってそういうのも面白い。
- A 委員 II期の437は面で色を変えるのか。
- 事務局 平面表示で柱を建てられるようにしておく。
- A 委員 面的にはこの範囲は色で変えるのか。
- 事務局 色はまだ検討中だが、I～III期は別の色にしていく。
- A 委員 園路はどれくらいの斜面になるのか。面でいくと斜面のところにあったのか。
- 事務局 現実の遺跡では高低差があるので園路で表示するかはわからないが、高さが同じところにあったという誤解は避けたい。斜面の低いところにこれがあったという事は表現したい。
- A 委員 低くない、同じ高さのところに造成するのは不可能なのか。
- 事務局 今の段階だと可能だ。
- A 委員 それは排水の関係でも可能か。
- 事務局 ここの排水溝は埋めないのに対応できるのではないかと思う。
- A 委員 437も439も同じようなスタイルで復元する事は可能という事か。
- B 委員 園路の北側法面の標高差はどれくらいか。
- 事務局 3m弱くらいになる。遺構があるあたりでも2.5m。
- B 委員 中間あたりにテラスとか作ってはどうか。
- C 委員 テラスを作っても、上り下りの階段とか、見学用の通路とかが必要ではないのか。
- 事務局 こちらに看板を置いてずらせばと考えている。
- A 委員 実際1mくらいの段差だから、437と439の相対的に見て行くと元々の位置からそんなにずれない。
- B 委員 表面表示は437と439を同じにすればいい。
- A 委員 II期は2件一緒になる。これで収まる。

②史跡地実施設計の修正について

- 事務局 史跡地実施設計の修正についての報告
- A 委員 園路の傾斜を補正するために若干修正したい。
- C 委員 車椅子で八脚門を見学できる園路の設置等検討だが、東門へ北から入ってくる。文化庁の復元で前に通路があるはずだという黄色い線を右へ移動して、茶色の道を北から右へ移動して右へ曲がる通路として、八脚門の通路を意識してバリアフリーの園路をうまくくっつけてはどうかと思う。
- B 委員 コンタが厳しいからどうか。
- D 委員 近代的な道だが、北側から塀に沿って行くようなイメージならいけるのではないか。
- D 委員 下側の道は違うのか。
- 事務局 これは違う。
- C 委員 車椅子で行ける範囲だが右の方の斜面は車椅子で入れるかどうか。
- 事務局 傾斜がきついので入るのは難しい。
- C 委員 車椅子の方への対応がガイダンス施設の中で人的にできるようにしておくべきではないか。
- D 委員 ガイダンス施設からこう入って行く訳にはいかない。
- 事務局 こちらも回っていかなければいけないので結局は同じだ。
- D 委員 倉庫のところはどうか。
- 事務局 倉庫のところは難しい。
- E 委員 車椅子はその道しか通れないのか。
- 事務局 草が生えているので動きにくいと思う。
- E 委員 道は一周している訳ではないから途中で帰ってくるのか。そこはうまくできるのか。
- 事務局 エントランスで3mあるからいける。
- F 委員 西側の入口で墓の横だが危険な坂がある。そちらの方からの出入りはどうなっているのか。もう1つは、駐車場を今は市が借りているが、将来買ってもらえるのならそこから出入ができる。現実不自然だ。
- 事務局 今回はどうかはいえない。
- F 委員 買ってもらえるならストレートに入れるので、車椅子の人は便利では。
- 事務局 西側にも入口があれば下からかなりの勾配で上がってくるよりも、上の方に行くにも平坦でいいのだが。メインの八脚門の傍まで行くには遠い。下の方に行ってもらった方が八脚門も近くまで行ける。
- A 委員 東へずらして東側から見てもらう。D委員の意見から傾斜がきついのではないかとこの事だがその案は現実的に難しいのか。傾斜がどれくらいあるのか。
- C 委員 年末に行った時に東側がかなり落ちていた。
- 事務局 門の東側は落ちているが、流れていった土を入れるのでもう少しゆるくなる。補正が終わってからだとこのところはある。平たいところを通ってもらえれば安全だ。
- C 委員 園路のバリアフリー化というのは具体的にどういうものか。
- 事務局 フラットになるために修正する。
- C 委員 園路を直角に断面に切った時、園路の両側はどういう設計するのか。車椅子のために急傾斜なところは園路の端に杭をたてるなど車椅子が止まるような仕掛けが必要ではないか。史跡の中では見たことがないが、ショッピングセンターでは手すりを付けたたりしている。最終的に園路と北地区は何もないより配慮をしたほうがいい。
- 事務局 縁石は考えているがその辺は検討する。
- D 委員 門まで斜めになっているが、塀に沿った形で自然と出てくるようにしてはどうか。

事務局 今回はこんな風にしたいというイメージでこれから検討する。

A 委員 斜面地だから完全に車椅子対応は安全面でも難しいが一応、今の案で進んでいるという事でよろしいか。もう1つの議題、門柱のデザインはどうか。

D 委員 斜線の部分は地面になるのか。

事務局 地面になる。

D 委員 基壇はなく地面に直接埋め込まれる形になるのか。

A 委員 下の部分を無くして深く、もっと分厚くする。

G 委員 園路を下って施設までにトイレがあった方がいい。

事務局 史跡地バリアフリーの中でさらに細かいところで設計変更があると思う。また先生方の意見もお願いしたい。

G 委員 学校の先生方の目が届かないことがおこらないように。

事務局 平面から立面へ進むにつれて、これからいろいろ出てくると思うが、意見をお願いしたい。

A 委員 久留倍運営委員会よりパンフレットをもらった。

F 委員 11月10日に久留倍まつりを開催したので、その結果報告をしたい。今年は11月16日に開催予定だ。一昨年はプロの方にポスターを依頼した。去年は、地元朝明中学の学生に作成を依頼した。壬申の乱の甲冑を作成し、四日市大学の学生に着てもらった。地元の小中・大学の学生を中心に若い方の参加をお願いしている。